

もっと知ろう！私のまちととなりまち

～三市合同施設見学会・市民見学会～

登別・室蘭・伊達の三市の市民を対象とした『三市合同施設見学会』が9月28日(火)に行われました。

この見学会は、となりまちの理解と市民交流を深めようと昭和57年から開かれており、この日は登別市民16人、室蘭市民14人、伊達市民12人の計42人が参加し、室蘭市内の工場や観光施設などを見学しました。

現在、迎賓館として利用されている㈱日本製鋼所室蘭製作所の瑞泉閣では、建物の概要や皇族訪問の模様など説明員の話熱心に聞き、鍛刀所では刀づくりを体感した参加者は、普段見ることのできない施設などを見学できたと感激していました。

また、10月1日(金)・2日(土)には、市民にもっとまちづくりの様子を知ってもらい、市政への理解を深めてもらおうと市が毎年春と秋に実施している『市民見学会』が行われました。

この2日間の参加者は31人で、若山浄化センターやふおれすと鉱山、市民プール、クリンクルセンター、特別養護老人ホーム『緑風園』を見学。参加者からは、「もっとまちのことを学ばなくては」「税金の使いみちが見えてきました」などの声が聞かれました。



▲鍛刀所を見学する参加者（『三市合同施設見学会』）



▲若山浄化センターを見学する参加者（『市民見学会』）

海の恵みに、満面の笑み ～地引網体験～



9月18日(土)、登別市子ども地域交流プラザ運営委員会主催の『地引網体験』が富浦海岸で行われました。

この催しは、地引網の体験を通して子どもたちに海や自然の大切さを学んでもらおうと毎年行われているものです。この日は幼稚園・保育所の子どもや小学生、父母、登別中央ライオンズクラブのメンバーなど約100人が参加しました。

参加者全員で富浦海岸の清掃をした後、いぶり中央漁業協同組合登別支所の漁業者の協力で、地引網体験がスタートしました。子どもたちが顔を赤らめ力いっぱい網を引くと、チカやサヨリが網の中でうろこを輝かせて飛び跳ねます。子どもたちは、満面に笑みを浮かべながら、なれない手つきで魚を分け合っていました。

まちづくりへの思いを市長へ！

～市長室フリータイム～

10月5日(火)、市役所で、市民が日ごろまちづくりなどについて考えていることを市長と直接会って話をする『市長室フリータイム』が開かれました。

この事業は、市政をもっと身近に感じてもらうと平成元年から行われ、これまで延べ約230人の市民が市長と直接、意見を交換しています。

この日は、事前に申し込みをした4組（3人、1サークル）が、特殊学級の介助員の採用方法や健康教室の規模の拡大、花見のできる公園の設置、町内会への情報提供のあり方など6件のテーマについて、上野市長と意見を交換しました。

『市長室フリータイム』は、毎年2回、この『広報のぼりべつ』で参加者を募集して行われます。



▲上野市長と意見交換する障がい児親子の会『ぼくらぶ』のメンバー